

公表: 令和元年12月3日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2		適切ではあるが男性職員が不足しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	1	階段について、バリアフリー化はされていないが、転落防止に配慮している。子ども達には、手すりにつかまる事や階段途中の追い越しや座り込みなどないように伝え、安全に努めています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			適時、面談を行いサービス提供に関してのご意向等をお聞きしています。ご意向等を参考に業務の改善に繋げています。また、評価表を活用し保護者さまの意向を業務に取り入れられるようにしています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			事業所内研修と、外部研修の機会を設けています。内部研修では、障がいについての理解を主な内容とし、基本的な支援の方法から専門性を学ぶ機会としております。外部研修では、支援方法のスキルアップ、虐待防止、危機管理等、サービス提供を行う上で必要な研修に出向き、学ぶ機会を得るようにしています。	
適切	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			個別支援計画の見直し時や、保護者面談等の際に、アセスメントを行い、お子様の状況についての情報収集を行っております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			現在のところ、特定のアセスメントツールは使用しておらず、身辺自立、基本的な生活動作等の項目を設け、その内容に関する情報を元にアセスメントしています。今後、ガイドラインでも示しているヴァインランドⅡ、KIDS等、アセスメントツールについての検討を行い、活用が必要だと感じております。アセスメントツールを使用することで、より子どもの成長・発達等に関して、詳しく状況を把握することができ、よりきめ細かい支援が出来ることが期待されます。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			集団活動、個別活動のプログラムに関して、計画担当者が中心となり、スタッフの意見を交えプログラムの実施をしています。	

切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7				
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				子どもの発達の状況、年齢、特性等に配慮し、プログラムの実施を行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				支援ミーティングを行い、子どもの状況の把握や連絡事項、その日の活動についての情報共有を行い周知しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7				支援終了後の打ち合わせについては、スタッフそれぞれが支援記録を記入し、気づき等の記録をまとめるようにしています。また、ご家族からの要望やインシデント等があった場合には、情報共有を行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				毎日記録を行い、個別支援計画のモニタリング・評価等の際に使用しています。また、支援の改善にも繋げています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				最低半年に1回は、モニタリングをしています。モニタリングの情報を元に、計画の見直しも行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	3			ガイドラインに示されており、基本活動（自立支援と日常の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供）に関し、平日と休日・長期休暇等におけるプログラムに取り入れております。平日には、全てを組み合わせるのは時間が足りず行うことができないこともあります、できるだけ取り入れて実施しています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2			保護者様に情報共有の可否を確認し、保護者様の了承のもと適切な対応を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3			現在医療的ケア(重症心身障害)を必要とする子どもが利用していませんが、今後受け入れがある際には連絡体制の整備を行います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1			幼稚園や保育園等とケース会議を開き、子どもの様子や支援方法を共有しよりよい支援を行えるよう連携を取っています。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	1			
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1				

者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	1	児童クラブ等との交流はありませんが、検討していきたいです。	
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2			
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			保護者様とは、日々の子どもの状況について、情報を共有させて頂いています。連絡帳や送迎時が日々の情報共有の場となりますが、適時面談も実施しています。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3		保護者様とは、日々の子どもの状況について、情報を共有させて頂いています。ペアレント・トレーニングという形ではありませんが、保護者様の子育て等の不安感を取り除けるよう、いつでも相談をお受けさせて頂いています。	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明を行っていますが、制度等の変更により、規程等が変更されることもあるので、都度行っています。支援内容等については、面談や同意を頂く際に説明をさせて頂いています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			保護者様とは、日々の子どもの状況について、情報を共有させて頂いています。連絡帳や送迎時が日々の情報共有の場となりますが、適時面談も実施しています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	開催できるよう検討しています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2			
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7			個人情報の取り扱いについては、保護者様に、個人情報同意書に同意を頂いています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			意思の疎通等の配慮に関しては、保護者様のご意向やお子様の状況に応じ、相互にどんな方法がいいのか相談をしながら行っています。	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	1		
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2		対応マニュアルを策定しております。保護者様への周知について現状では行っていません。周知の方法の検討を行い今後行っていきます。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年2回、避難誘導訓練を実施しています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2			

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		現在、医師から指示書を頂いている利用者はいませんが、今後受け入れがある際には対応します。	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			事故防止の観点から、日々の支援で感じたこと等をスタッフに周知するように心がけています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。